

妊娠期からの切れ目ない支援のために ～妊娠SOSかながわ～

神奈川県保健福祉局保健医療部

健康増進課長 鈴木 慎一

近年、核家族化や地域のつながりの希薄化等により、妊産婦やその家族を支える力が弱くなり、子育て家庭の孤立感や負担感が高まっています。そのため、地方公共団体には、各地域の特性に応じた妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援を行うことが求められているところです。

こうした中で、県は、市町村保健師等を対象としたスキルアップ研修を通じた人材育成や、産前・産後サポート及び産後ケア支援の情報提供、関係機関との連携強化等を行い、妊産婦支援の体制づくりに取り組んでいます。

こうした母子保健の取組みが拡充していく一方で、望まない妊娠等の相談支援は、必要な受け皿でありながら制度の狭間にありました。このような状況から、県の保健師が相談に対応していた関係者の意見をとりまとめ、「妊娠SOSかながわ」を県厚木保健福祉事務所大和センターに立ち上げました。その後、対象を全県に拡大して、今年で3年目となります。

「妊娠SOSかながわ」では、妊娠に伴う悩みや気持ちへの寄り添い、必要とされる正しい情報の提供や、継続した支援のための適切な相談窓口の紹介等、望まない妊娠をされた方の様々な不安や悩みに対応しています。

こうした妊産婦に対する相談事業をはじめ、母子保健の取組みは、関係機関との連携が不可欠です。日々変化していくニーズに迅速かつ柔軟に対応できるよう、今後も、市町村や関係機関等と情報を共有し、広域的な視点から妊産婦やその家族の方々が安心できる支援のあり方を検討していきたいと考えています。

「妊娠SOSかながわ」 匿名で、安心して相談できる窓口

- ◆ 相談方法 専用電話による相談（☎046-263-2720）
- ◆ 相談日時 毎週水曜・木曜（休日除く）、9時～12時、13時～16時

<相談例>

- ・コンドーム失敗しちゃった・・・
- ・生理が来ない、妊娠しちゃったかも・・・
- ・これからどうしたらよいの・・・ 等

